

●2次設工認「添付説明書－設2-1 フードボックスパネルの設計について」より抜粋：  
p 添 I - 341

(6) 表1の火災熱評価エリア区分Bについては、以下を考慮していずれかの対策を選択する。

- ① 又はのいずれの材料も使用できるように遮熱板を設置する。遮熱板はフードパネルと必要離隔距離（添付説明書－設2-1 付1 参照）以上を確保して設置する。遮熱板の設計については次項に示す。
- ② 火災源を遮熱板で囲えない場合や、火災熱評価エリア内に製のパネルのみが存在し、今後を用いる予定が無い場合は、フードパネル材料をに限定する。

#### 4. 本事例の対応について

上述のとおり、とを併記することは、火災評価対象とならない当該洗浄ボックスに対しては問題ない。

しかし、材料一覧に記載する材料は、実際に用いている材料を特定することができるように記載すべきであるとの判断に至り、記載を改めることとした。

以下に修正案を記載する（一部形式を改変）。

別表ハ設-22 洗浄ボックス 材料一覧

機器名	部位	部位名	材料
洗浄ボックス(1)、(2)	ウランを取り扱う部位	フードボックス (パネル)	
		シンク	

従来記載



別表ハ設-22 洗浄ボックス 材料一覧

削除

機器名	部位	部位名	材料
洗浄ボックス(1)、(2)	ウランを取り扱う部位	フードボックス (パネル)	
		シンク	

変更後の記載案

5. 今回の変更に関する影響について

今回の変更は設計上使用可能な材料のいずれかを記載するというものであり、適合性への影響はない。

6. 同様の事例に対する確認について

設工認の材料一覧への記載について、すべての設備に対して確認を実施した。

その結果、材料一覧に記載の部位と材料は実際に用いているものと対応することを確認した。

洗浄ボックス以外については、フードボックス（パネル）としても、と  
を併記しているものに対し、両者が実際に用いられていることを確認した。

以上

変更前				変更後				変更理由
別表ハ設-21 ベレット寸法密度測定台 材料一覧								記載の適正化
機器名	部位	部位名	材料	機器名	部位	部位名	材料	
ベレット寸法密度測定台	構造部材	柱			構造部材	柱		
		はり				はり		
	ウランを取り扱う部位	ベレット寸法密度測定台			ウランを取り扱う部位	ベレット寸法密度測定台		
	その他	アンカーボルト 落下防止棒 (ベレット落下防止)			その他	アンカーボルト 落下防止棒 (ベレット落下防止)		
許可との対応：(426)				許可との対応：(426)				
別表ハ設-22 洗浄ボックス 材料一覧								
機器名	部位	部位名	材料	機器名	部位	部位名	材料	
洗浄ボックス(1)、(2)	構造部材	柱			構造部材	柱		
		はり				はり		
	ウランを取り扱う部位	フードボックス (パネル)			ウランを取り扱う部位	フードボックス (パネル)		
	その他	シンク 取付ボルト アンカーボルト フィルタボックス			その他	シンク 取付ボルト アンカーボルト フィルタボックス		
許可との対応：(427)				許可との対応：(427)				
別表ハ設-23 ロータ用台車(2) 材料一覧								
機器名	部位	部位名	材料	機器名	部位	部位名	材料	
ロータ用台車(2)	構造部材	台車本体			構造部材	台車本体		
		- (ロータ)				- (ロータ)		
	ウランを取り扱う部位	専用取組部 (容器落下防止及びスベークレー)			ウランを取り扱う部位	専用取組部 (容器落下防止及びスベークレー)		
	その他				その他			
許可との対応：(428)				許可との対応：(428)				
109				109				

変更対象を黒文字下線もしくは黒線囲い、変更箇所を赤文字下線もしくは赤線囲いで示す。